実践記録

「志津里山自然学校」プログラム③
「みんなで伐採にチャレンジ！」

実施日	活動場所	参加者	講師	スタッフ
2025.10.18 10:00～14:00	馬場町奥村但馬守館跡周辺の山林	30名 新期生16名 運営委員の子ども14名	2名 i-Forest Club 竹内先生 林先生	28名 運営委員14名(山元様・我孫子様・北川様含む) まち協2名　レイ大ボランティアの会8名 市4名

○i-Forest Clubは8時前に集合し準備にあたる

○運営委員集合→準備　8:45

○運営委員打合せ　9:00

○4期生集合・受付　9:40

※車は馬場町会館下広場に駐車(駐車場案内はボランティアの会)


①

あいさつ・活動説明等　10:00～10:10

■進行・・・3期生 【写真①】

①「志津里山自然学校」校長の挨拶(山元様)

②本日の活動説明(進行リーダー)

③伐採の講師紹介(我孫子様)


②

伐採の意義についての話　10:10～10:15

■説明・・・我孫子様 【写真②】

■生物多様性の学び・・・生物多様性の保全(伐採の意義)

多様な生き物が棲みつく豊かな植生を再生し守っていくために、間伐など人間の適切なかかわりが必要であることについて分かりやすくお話しいただく。

○移動準備・・・ヘルメット　軍手　安全眼鏡の着用確認　10:15

○班ごとに伐採場所へ移動


③

チェーンソーによるヒノキの伐採見学　10:25～10:50

■講師・・・i-Forest Clubの竹内先生・林先生・(北川様)

①伐採で使用する器具等の説明を聞く

②伐採方法「受け口・追口」の説明を聞く 【写真③】

③伐採の様子を見学する 【写真④】

良かった点　・伐採準備の様子を見学者の場所から見ることができた

・伐採準備の様子を運営委員が急遽解説した(自主的に)

・今年度も見学者の方向に倒していただいたため迫力があった


④

枝切り・丸太切りにチャレンジ！　10:50～11:50

■説明・・・進行リーダー

①のこぎりの使い方や留意点などを説明

②伐採木の枝切り体験 【写真⑤】

③伐採木の丸太切りにチャレンジ！　【写真⑥】

※昨年に引き続き今年も伐採木の太い幹を手のこぎりで切り落とす(昨年より多くの子どもが挑戦)

感想例　・木の幹と丸太を切れたことが一番楽しかった

・子どもが一生懸命に枝を切っている姿が印象的でした

・子どもたちが一生懸命なれないのこぎりで枝を切っていて喜んでいた姿が心に残った


⑤

実践記録

昼食　11:50～12:30

○広場へ移動→ヘルメット・安全眼鏡の回収

2グループに分かれ森林浴を楽しみながら和やかに食事する【写真⑨】

サツマイモ掘り・リースづくり　12:30～13:30

■説明・・・3期生（サツマイモ掘り）　藤井様（リース作り）

A・B班に分かれて活動　【写真⑦】

A班(1・2班)　前半：サツマイモ掘り・・イモの起こし方の説明を聞く→芋を起こして選別

後半：リース作り・・芋つるのまき方の説明を聞く→各自で作成

B班(3・4班)　前半：リース作り・・芋つるのまき方の説明を聞く→各自で作成　【写真⑧】

後半：サツマイモ掘り・・イモの起こし方の説明を聞く→芋を起こして選別

○事前準備・・・午前中にボランティアの会がつる切りとマルチシート取りを行う

また切り取ったつるはリース作り用に加工する

○リース作り・・・急遽ボランティアの会の藤井様にご指導いただく　子どもも大人も夢中になる

○サツマイモは昨年に近い収穫量　一部は家族やスタッフへのお土産とする

振返り・連絡・後片付け　13:30～14:00

今日一日の活動を振返り用紙に記入する

●振返りの感想例

質問1　一番楽しかったこと・心に残ったことは？

・伐採の様子を見ること　木を自分たちの方に倒してくれた　木が倒れた時が心に残った

・お芋掘りででかいお芋がとれてうれしかった　掘るのが楽しかったです

・木を伐採するところをまじかで見られたこと　それを自分たちで切る経験は貴重で良いなと思った

質問2　新しい発見・初めて知ったことは？

・サツマイモの茎でリースがつくれることを初めて知りました

・枝にも年輪があることです　手前にのこぎりを引くときに切れる

・木を伐採するときの順序　のこぎりの種類と扱い方

・樹木の高さの測り方　木の伐採の仕方　樹木が倒れるときの距離の測り方

質問3　その他　思ったことなどは？

・栗のイガイガが痛かった　お母さんがつくってくれたおべんとうがおいしかった

・木が倒れるところを初めて見た　木を切るときはすごい体力がいる

・伐採チャレンジと芋掘りの二本立てが内容的にちょうど良いなと思いました　次回の収穫祭が楽しみ

・子どもたちが色んなことに楽しく取り組みすごくいいことだと思った

・自然と触れ合うことはいいことですね　このような機会を提供していただきありがとうございます

運営委員の振返り　14:10～14:30

・一人が説明するのではなくみんなで補って説明していくのが良かった　協力してもらって良かった

・みんなで後片付けができたことが良かった　少し一体感が出てきたように感じられた

・4期生がそれぞれの活動に熱中して取り組んでいた　多少自由に山や沢で探索もしてもらえた

・事前の運営委員会に参加し計画段階から入っていたのでやりがいがありました

・子どもたちが頑張っている姿を見てこちらも嬉しく元気がもらえることが良かったです

・子どもが頑張ってリースを作り続ける姿に元気をもらいました　やりがいがあり来て良かった

■本実践の評価は別紙参照

別紙　令和7年度「志津里山自然学校」プログラム③の評価

⑥



⑦



⑦



⑧



⑧



⑨

